



国際ロータリー2023-24年度テーマ

第2780地区 ガバナー
田島 敏久

第3グループガバナー補佐
村上 進



世界に希望を生み出そう

- 創立 / 昭和29年6月3日
- 事務所 / 藤沢市藤沢93新堀ライブ館204 TEL: 0466-25-4000 FAX: 0466-26-9292 E-mail: info@fujisawa-rotary.com
- 例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30
- 第70代会長 / 小河 静雄 幹事 / 小澤 智幸
- 例会場 / 湘南鎌倉クリスタルホテル TEL: 0466-28-2111

NO. 25 第3325例会 2024年 2月 7日 天候 晴れ

国家「君が代」

ロータリーソング「我らの生業」

「四つのテスト」 菊地 賢一 会員

《ゲスト・ビジターの紹介》

卓話ゲスト：マハブービ・シェヘラザード 様

(湘南工科大学情報学部助教/米山学友)

(紹介者：崎山直夫 米山カウンセラー)

ゲスト：サリム, ブライアン様

(藤沢 RC 委嘱米山酒学生/湘南工科大学情報学部)

(紹介者：崎山直夫 米山カウンセラー)

ビジター：小坂 優 様 (東京八王子 RC)

《会長挨拶》

- ・湘南工科大学から、シャア先生ようこそ。卓話
よろしくお願ひ致します。小坂様、ようこそ。
- ・藤沢に長く潜伏していた犯罪者のニュースがあり
驚きました。平和な藤沢であることを祈ります。
- ・例年2月3日、摩利支天で有名なお寺に参りました。
年男なので、勢いよく行きたいと思ひます。



《幹事報告》

- ・例会後、創立70周年記念事業実行委員会を開催
致します。実行委員はご出席ください。
- ・2024-25年度のロータリー手帳のご案内が参りました。
メール、FAXでお知らせ致しますので、ご
購入ご希望は、事務局へご連絡下さい。
- ・委員会・会議等
2月14日 地区危機管理委員会
出席者：椋梨副委員長

《お祝い》

会員誕生日 1月10日 北村 雪江 会員



出席報告 ()内は計算に用いた会員数

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メイクアップ 会員数	修正出席者数	修正出席率
1月24日	40(37)名	31名	6名	83.78%	0名	31名	83.78%
2月7日	40(37)名	24名	13名	64.86%			

奨学金のお渡し



サリム、ブライアンさんからスピーチいただきました。米山奨学会について教えて下さったのは、卓話ゲストのチャー先生だったそうです。

《スマイル報告》

小坂 優 様 (東京八王子 RC)

お世話になります。

小河 静雄 会長

チャー先生、スピーチ楽しみにしています。

小澤 智幸 幹事

チャー先生、本日の卓話、楽しみにしております。ブライアンさん、ようこそ。

大小原 徹 会員

ブライアンさん、ようこそ。

チャー先生、本日の卓話よろしくお願ひします。

鈴木 大次 会員

チャー先生、卓話楽しみです。

ブライアン君、ようこそ。

東京八王子 RC 小坂様、ようこそ。

崎山 直夫 会員

マハブービ様、卓話をよろしくお願ひ致します。

北村 雪江 会員

お誕生日のお祝ひ、ありがとうございます。

《小話》

吉野 貴美 会員



成人式に纏わる、美容師あるあるをお話いただきました。成人式の晴れ着のヘアスタイルも時代によって色々だそうです。アニメのヒロイン風だった頃もあったり、今年は、水引と金箔が人気だったそうです。かつて草履をはき間違えて帰られ、履きなれないので、家に帰ってお母様が気づくといったハプニングもあったそうです。

《卓話》

「湘南工科大学 AI R&D センターの紹介」

湘南工科大学情報学部情報学科

助教 マハブービ・シェヘラザード様

(紹介者：崎山直夫米山カウンセラー)



シャー先生はイランのご出身。ペルシャ人と呼ばれます。米山奨学生として2年間支援を受け、1年延長支援を受けた後、世話クラブの茅ヶ崎湘南ロータリークラブから1年間支援を受けられました。現在、米山学友としてご活躍です。



大学の紹介と我がクラブの委嘱米山奨学生である、ブライアンさんがどのような環境で勉強しているかお話くださいました。

湘南工科大学は、2023年より情報学部を新設。情報学部の中は、人工知能専攻、情報工学専攻、情報メディア専攻に分かれているそうです。コロナ禍で、メディア授業という、いつでも、どこでも何度でも受けられる「BYOD」という形の受講形態を始めたそうです。情報学部のモットーは、「やりたいことを、できることに」1年生では、情報学部すべてに共通する基礎を学び、2年生以降興味に応じた専門分野の研究に進む形を取って、学年の垣根をなくしたプロジェクトを立ち上げるような、アクティブラーニングを行なうことが出来るそうです。



より活発な活動をするためにより広い施設がつけられました。その一つがAI R&Dセンター。勉強する

スタイルにこだわらず、成果を出す、学会で発表もします。大きなイベントにも出展しています。他にも、より自由に学べる施設を作り、成果を上げています。具体例として、言語処理や画像処理、ゲーム制作、AI学習分野など、学生の研究についてお話下さいました。ブライアンさんの研究についてもうかがいました。環境を整えたことによって、学生の研究成果がさらに向上しているそうです。



小河会長より謝辞



本日のお料理